

令和4年度版

数字で見る図書館活動

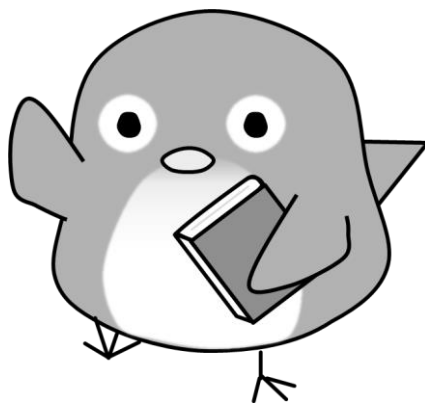
— 概要と統計 —

調布市立図書館

令和4年度版

数字で見る図書館活動

— 概要と統計 —



調布市立図書館
公式キャラクター
じろ

調布市立図書館の基本方針及び運営方針

1 基本方針

調布市立図書館は、分館網の整備・充実をすすめることにより、いつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できる市民の書斎であり続けるとともに、地域に根ざした市民文化の創造に寄与するため、市民の参加と協働を得て、積極的な図書館活動を展開する。

2 運営方針

- (1) 市民の豊かな読書生活を保障し、調査・研究を支援する機能をさらに発展させるとともに、新しい情報通信技術の活用により、市民のための「地域の情報拠点」として、市民生活に役立つ図書館をめざす。
- (2) 子どもに良い読書環境を提供するために、全館に質の高い図書を揃え、図書館内外のあらゆる機会をとらえて、積極的な児童サービスを展開する。
- (3) 図書館を利用するうえで、困難な条件にある高齢者や障がい者などを支援するとともに、一層の情報バリアフリー化をすすめる。
- (4) 文化創造の拠点として積極的に図書館活動を展開し、市民の身近なところで文化事業を実施する。また、読書団体との連携により、読書推進事業に取り組む。
- (5) 図書館活動に市民の意向を反映するために、図書館協議会や利用者の懇談会などでの意見を尊重するとともに、図書館ボランティアの充実を図るなど、市民との協働による図書館運営を推進する。
- (6) 図書館サービスの発展を保障するために、職員に対する継続的研修を行い、司書業務に係る専門的資質の向上に努める。

平成17年1月27日

目 次

I	調布市の概況	1
1	人口	2
2	予算及び決算	3
II	図書館の概況	5
1	令和4年度の事業	8
2	図書館配置図	13
3	施設概況	15
4	各館の概要	17
III	図書館協議会	21
IV	図書館活動状況	24
1	利用の状況	24
(1)	個人利用	24
(2)	団体利用	31
(3)	予約・リクエスト・相互貸借	33
(4)	弁償・督促	35
(5)	入館者数	36
2	レファレンスサービス	37
(1)	電子情報の提供	38
(2)	ビジネス・仕事支援サービス	40
(3)	健康・医療情報コーナー	41
(4)	「暮らしに役立つ法務ミニセミナー」	41
(5)	パスファインダー	42
(6)	地域資料	43
(7)	映画資料	44
3	視聴覚資料室	46
4	子どもへのサービス	47
(1)	主催事業	48
(2)	市内小・中学校との協力	51
(3)	他機関等との協力	54
(4)	発行物	55
5	利用支援	57
(1)	利用登録者数の推移	57
(2)	音訳サービス	58
(3)	点訳サービス	60
(4)	大活字本の収集・貸出し	60
(5)	宅配サービス	61

(6)	子どもへのサービス	61
(7)	広報活動	62
(8)	音訳者・点訳者・布の絵本製作者向け講座・講習会	64
(9)	その他事業	66
(10)	実習生・職場体験の受入れ	66
(11)	利用支援用資料の収集	66
6	分館の活動状況	67
(1)	具体的なサービス	67
(2)	分館における蔵書の維持・管理	67
(3)	自衛消防訓練の実施	68
(4)	近隣施設・機関との連携	68
(5)	地区協議会への参加	68
(6)	集会室の貸出し	68
(7)	各館の活動	69
ア	国領分館	69
イ	調和分館	71
ウ	深大寺分館	73
エ	神代分館	75
オ	宮の下分館	77
カ	緑ヶ丘分館	79
キ	富士見分館	81
ク	若葉分館	83
ケ	染地分館	86
コ	佐須分館	87
7	事業	89
(1)	展示	89
(2)	読書啓発事業	93
(3)	図書館ボランティア活動	96
(4)	図書館における地域情報化事業	97
(5)	京王線沿線七市図書館連携事業	99
(6)	図書館利用者懇談会	100
(7)	生涯学習出前講座	100
(8)	行政の広聴事業等への協力	100
(9)	F C 東京との連携	101
(10)	つげ義春氏関連事業	102
8	広報活動	103
9	研修	106
10	電算システム入替えについて	110

V	蔵書管理状況	112
1	資料選定・収集体制	112
2	資料の整理	113
3	蔵書管理	113
4	寄贈受付・リサイクル	114
VI	参考資料	119
1	図書館活動10年間の推移	119
2	開館日数と開館時間	121
3	意見・要望等の状況	124
4	令和4年度のあゆみ	125
5	新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応	127
6	令和4年度の工事・主な修繕の記録	128
7	染地分館の施設改修工事に伴う臨時休館	129
8	職員体制	130
9	年度別職員数の推移	133
10	条例・規則等	135
	調布市立図書館条例	135
	調布市立図書館条例施行規則	138
	調布市立図書館処務規程	143
	調布市立図書館資料の収集・保存・除籍に関する基本的方針	147

I 調布市の概況

昭和30年、調布町と神代町が合併して調布市が誕生し、平成27年には市制施行60周年を迎えました。

調布市は、東京都のほぼ中央（離島を除く）、多摩地域の南東に位置し、都心部へ約20キロメートルの距離にあります。市域の広がり、東西7キロメートル、南北5.7キロメートル、面積21.58平方キロメートル（平成26年国土交通省国土地理院修正値）で、東京都全体の約1パーセントに当たります。市の東西方向には京王線と国道20号線（甲州街道）が走り、ほぼ北東から西南にかけては中央自動車道が横断しています。新宿まで、東へ15キロメートル、京王線の特急で約15分という典型的な近郊住宅都市です。

地形は、北に向かって高台となる段丘で、武蔵野段丘と立川段丘に広がっています。土地の高度は、都立神代植物公園北方付近が海拔56メートルで最も高く、南の多摩川沿いの染地3丁目が海拔24メートルで最も低くなっています。

平成24年8月に京王線の地下化が実現し、これに伴い、調布・布田・国領を初めとした各駅前広場の整備が進められてきました。

平成29年10月1日を基準日とした人口推計によると、人口は今後も増加を続け、令和10年にピークを迎えると推計されています。



位置（市役所）

北緯35度39分 東経139度32分

1 人口

令和5年3月31日現在（4月1日発表）、調布市には外国人4,855人を含む23万8,952人が住み、人口密度は1万1,072.8人/㎥です。増減を見ると、近年は集合住宅などの建設が続いていることもあり、増加傾向にあります。

令和4年度の人口は、転入1万3,561人、転出1万2,745人、出生1,627人、死亡2,190人などで、前年度と比較して558人増加しました。

過去5年間の人口推移 (人)

項目 年度	男	女	合 計
H30	115,089	120,716	235,805
R1	115,755	121,751	237,506
R2	115,851	122,236	238,087
R3	115,967	122,427	238,394
R4	116,191	122,761	238,952

※ 各年度3月31日現在の人口です。

町別人口

令和5年3月31日現在 (人)

町 名	人 口	町 名	人 口
飛 田 給	8,141	入 間 町	9,161
上 石 原	10,423	仙 川 町	7,619
富 士 見 町	8,954	緑 ケ 丘	6,687
下 石 原	8,705	野 水	127
小 島 町	10,621	西 町	115
布 田	14,908	若 葉 町	6,281
国 領 町	27,018	調 布 ケ 丘	11,201
染 地	15,094	深 大 寺 元 町	4,733
多 摩 川	16,495	深 大 寺 北 町	8,068
佐 須 町	5,803	深 大 寺 東 町	11,810
柴 崎	8,310	深 大 寺 南 町	5,220
菊 野 台	9,560	八 雲 台	3,034
東つつじヶ丘	5,797		
西つつじヶ丘	15,067	合 計	238,952

2 予算及び決算

図書館費の令和4年度当初予算額は5億5,330万1,000円で、令和3年度に比べ全体で6,936万3,000円の増額となりました。これは図書館専任職員報酬等の増、図書館分館の改修工事、中央道高架下保存庫の除却に伴う図書館資料の搬出、保管費用、電算システムの更新を行うことなどによります。

図書購入費は、6,300万円となりました。

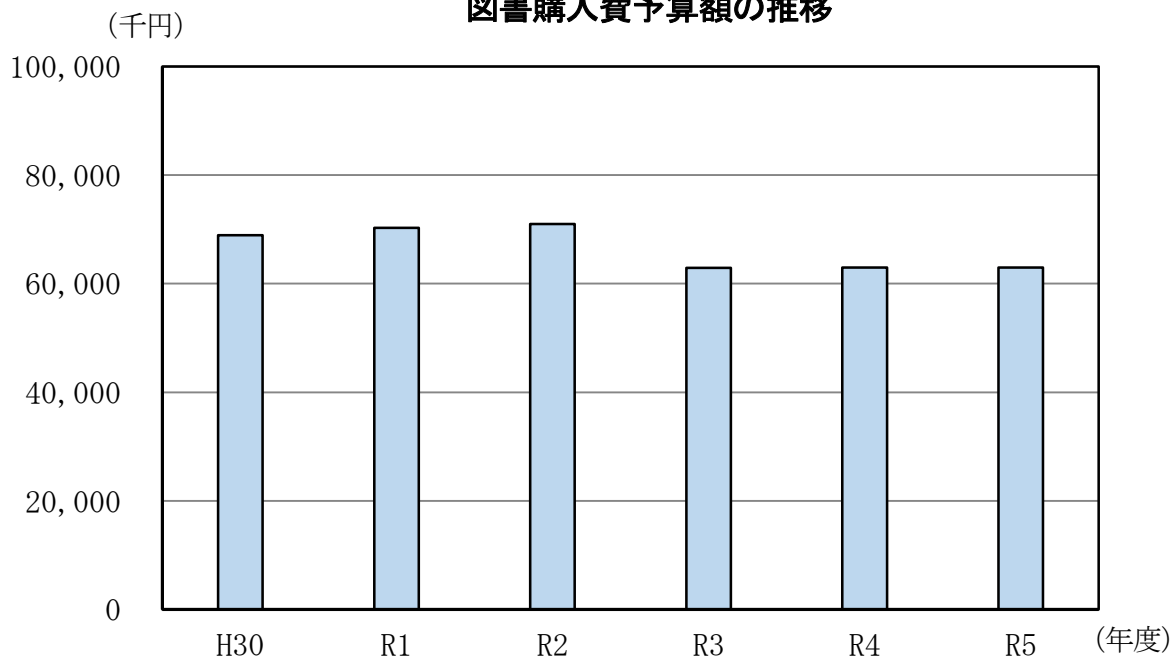
令和5年度の当初予算額は7億3,035万3,000円、図書購入費については6,300万円となっています。

図書購入費の予算額及び決算額の年度別推移

(千円)

年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
項 目						
図書購入費予算額 (うち視聴覚資料購入費)	68,915 (2,074)	70,293 (2,150)	70,996 (2,150)	62,896 (2,200)	63,000 (2,277)	63,000 (2,277)
図書購入費決算額 (うち視聴覚資料購入費)	68,914 (2,073)	70,159 (2,124)	68,996 (2,221)	63,104 (2,205)	(決算見込額) 62,832 (2,529)	

図書購入費予算額の推移



年度別決算額の推移

(千円)

年 度		H30	R1	R2	R3	R4(見込額)	R5当初予算
科 目							
市費総額		91,971,052	94,292,623	120,667,145	102,183,712	103,629,150	99,770,000
教育費		9,703,229	9,379,494	9,866,706	10,072,270	10,719,476	11,191,957
教育費の市費に占める割合		10.6%	9.9%	8.2%	9.9%	10.3%	11.2%
図書館費		487,644	479,580	503,084	489,540	522,607	730,353
（図書購入費）		68,914	70,159	68,996	63,104	62,832	63,000
（その他）		418,730	409,421	434,088	426,436	459,775	667,353
図書館費の市費に占める割合		0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%
図書館費の教育費に占める割合		5.0%	5.1%	5.1%	4.9%	4.9%	6.5%
人 口		235,805人	237,506人	238,087人	238,394人	238,952人	
人口一人当たり	市費	390,030円	397,012円	506,820円	428,634円	433,682円	
	教育費	41,149円	39,492円	41,442円	42,251円	44,860円	
	図書館費	2,068円	2,019円	2,113円	2,053円	2,187円	
	図書購入費	292円	295円	290円	265円	263円	

- ※ 図書館費に職員の給与等人件費は含まれません。
- ※ 人口は、各年度の3月31日現在の数値です。
- ※ 単位未満四捨五入のため、計数が一致しない場合があります。

Ⅱ 図書館の概況

図書館機能の充実

調布市立図書館は昭和41年6月、567㎡余の建物、5,600冊余の蔵書で産声をあげました。その後、蔵書や各種事業等の図書館活動の充実を図るとともに、地域でのサービスの拠点となる分館網の整備も進めていきました。人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館の3原則を掲げ、昭和44年開館の国領分館を皮切りに、昭和57年開館の佐須分館をもって分館網が完成しました。

中央図書館も、平成7年10月、調布市文化会館たづくりの竣工に合わせ移転し、規模や機能を大幅に拡大し、市の図書館サービスにおけるハブ機能を担う「中央図書館」の名にふさわしい施設となりました。

現在は、中央図書館と分館合わせて約135万冊の蔵書を有し、全館が一体的に多様な図書館活動を展開し、多くの市民に利用されています。

利用者サービスの充実

開館した当初は午後のみ開館でしたが、施設や職員体制の充実を図るなかで開館時間を順次拡大してきました。現在、中央図書館は午前9時から午後8時30分まで、分館は9時から午後5時まで（4月から9月の水・金曜日は午後6時まで）開館しています。

電算システムは平成3年度から導入しており、図書館運営の効率化を図るとともに、利用者サービスの向上にも大きな役割を果たしています。平成13年度に図書館独自のホームページを開設し、平成14年度からインターネットによる蔵書検索、予約受付、電子メールでの予約確保連絡が可能となりました。その後も、定期的に電算システムやホームページのリニューアルを行い、利用者サービス向上を図ってきています。

また、「第3次調布市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもを対象とするサービスを推進しているほか、「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標に、音訳、点訳、宅配等の利用支援の充実にも努めています。

関係機関等との連携

近隣図書館と連携を図り、隣接する三鷹市（平成13年度から）、狛江市（平成14年度から）との図書館相互利用に加え、平成20年度から京王線沿線の7市（八王子市、府中市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）の住民が図書館を相互に利用できるように連携事業を開始し、利便性を高めています。

中央図書館では、平成15年度からビジネス・仕事支援コーナー、平成24年度から健康・医療情報コーナー、就労支援コーナーを設置しています。調布市商工会や調布市産業労働支援センター、健康推進課や調布市医師会、行政書士会等、市役所内外の関係部署や機関と連携し、資料の作成・配布や講座を開催しています。

また、平成16年度に、文部科学省の事業委託により、市内にある電気通信大学の協力も得て地域情報化事業を開始し、現在まで継続的に取り組んでいます。

市民とともに歩む図書館活動の展開

平成7年9月、市民各層の代表者で構成する調布市立図書館協議会を発足させ、協議会でいただいた様々な助言を図書館運営に活かしています。さらに、平成13年度からは毎年利用者懇談会を開催し、利用者の視点からのご意見をいただくほか、平成15年度から書架整理などの活動に図書館ボランティアとして市民に参加いただいています。

地域情報化事業では、図書館職員がサポートしながら、市民協力員が運営を行っています。また、若い世代に図書館に親しんでもらうための取組のひとつとして、中学生の「記者」たちが自分たちで編集する中学生のための通信「ぶちねこ便」を昭和59年から毎月発行しています。

安全・安心な図書館を目指して

分館の多くは新耐震基準（昭和56年）以前に建設されていますが、耐震診断の結果に基づく分館の耐震補強工事は平成21年度に完了しました。また、深大寺分館については平成23年5月に新たな施設が竣工し移転開館しました。

平成23年3月11日の東日本大震災では、図書館各施設において建物だけでなく書架天板や資料の落下などの被害が生じたため、天板の固定、書架に耐震シートを敷くなどの対応を行いました。

中央図書館及び一部の分館を除き建築後40年以上経過していることから、施設の老朽化が進行しています。バリアフリー化も順次進めています。改修が困難な分館があるなど、施設面では多くの課題を抱えています。そのため、今後、市の公共施設マネジメント部署と連携を図るなかで、施設の改修等を計画的に進めていく必要があります。

調布市の特色を活かした図書館事業

日本映画全盛期の昭和30年代、調布市は大映、日活、調布映画撮影所の3ヶ所の撮影所のほか、映画、映像関連事業所が立地することから「東洋のハリウッド」と称されました。現在も多く事業所が事業を行っており、「映画のまち調布」を掲げたまちづくりを進めています。

図書館では映画関連図書、雑誌だけでなく、ポスター、スチール写真、チラシ、映画パンフレット、撮影台本等の映画・映像関連資料を多数所蔵し、公立図書館としては全国有数の規模を誇っています。これらの資料の一部は中央図書館5階の映画資料室で公開しているほか、毎年開催される「映画のまち調布シネマフェスティバル」で展示を行うなど、映画のまち調布ならではの図書館事業を行っています。

調布市名誉市民である漫画家、水木しげる氏（平成27年11月30日逝去）は昭和63年から平成7年まで、「図書館だより」の表紙画を描いてくださいました。現在も水木プロダクションのご協力により、おなじみの妖怪たちが「図書館だより」の表紙を飾っています。図書館では、水木氏関連資料のコレクションの充実に努めており、中央図書館5階に常設のコーナーを設置し、水木氏の著作等を展示しています。

また、市内にある味の素スタジアムを本拠地とするプロサッカーチームFC東京の応援展示コーナーを常設しているほか、FC東京と連携し、冊子『FC東京選手の私のすすめるこの一冊』を毎年発行し、スポーツ振興と読書推進を図っています。

図書館のさらなる充実に向けて

平成28年度には調布市立図書館が誕生して50周年を迎えました。市の鳥メジロをモデルにした「じろ」を記念キャラクターとし、全館で記念行事や記念講演会、展示会など多彩な活動を展開しました。「じろ」は平成29年4月に調布市立図書館公式キャラクターとなり、図書館が発行する各種刊行物やポスター、チラシ、LINEスタンプなど、広報活動において大活躍しています。

図書館運営のさらなる充実と効率化を図るため、平成30年度に組織の改正等を行い、奉仕係児童奉仕担当が児童奉仕係として独立した係となり、より一層児童サービスに力を入れて活動していく体制が整いました。また、利用者にわかりやすい組織となるよう、令和元年度に、奉仕係は図書館サービス係、児童奉仕係は児童サービス係、ハンディキャップサービス係は利用支援係、地域奉仕係は地域サービス係と、係名を変更しました。



調布市立図書館
公式キャラクター じろ

1 令和4年度の事業

平成17年7月に制定された「文字・活字文化振興法」では、地域における文字・活字文化の振興のため、国や地方公共団体は、公立図書館の整備や活動の充実に努めることとされています。

調布市立図書館は、多様化し質的にも高度化する市民の要求に応えるため、「調布市立図書館の基本方針及び運営方針」（平成17年1月）を定め、図書館の基本事業である資料の収集及び提供、調査支援のほか、様々な事業を実施してきました。

令和4年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、調布市の感染拡大の対応方針等に基づき、基本的な感染防止対策を徹底しながら、図書館の運営を行いました。おはなし会、各種講座、講演会等、予定していた事業については、感染拡大時期にあっては人数制限を行うなどの十分な感染防止対策を講じたうえで、ほぼ予定どおりに実施することができました。

(1) 事業項目

ア 運営関連事業

図書館協議会を4回開催し、図書館の主要事業についての報告及び審議を行いました。

図書館利用者懇談会を2回開催し、利用者の意見を聴取しました。

図書館電算システムを更新するとともに、ホームページをリニューアルし、利用者の利便性の向上を図りました。

イ 児童サービス関連事業

「第3次調布市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、読書の習慣を作ることができるよう、家庭、地域、学校、行政が連携を図りながら、様々な取組を行いました。

調布市基本計画や調布市教育プランなど市の主要な行政計画の改定に合わせて、「第4次調布市子ども読書活動推進計画(令和5年度～令和8年度)」を策定しました。

ウ 調査支援サービス関連事業

市民の学習・調査活動への支援、地域資料の収集及び提供の推進、東京都行政書士会との連携による法務セミナー、映画資料の充実と展示活動の4点を中心にサービスの充実に取り組みました。

「映画のまち調布シネマフェスティバル」の一環として、「ポスターに見る日活・大映の宣伝」と題し、所蔵する調布ゆかりの日活・大映作品を中心に、ポスターを通じた映画の宣伝についての展示を実施したほか、シネマフェスティバルで上映された作品に関連した資料の「コラボ展示」を行いました。

エ 利用支援サービス関連事業

DAISY図書、布の絵本・布の遊具、マルチメディアDAISYなどの資料の充実を図るとともに、来館することが困難な利用者への宅配サービスを実施しました。

協力者懇談会を開催し、図書館協力者（音訳者・点訳者・布の絵本製作者）と情報交換を行うとともに、音訳者養成講座や、布の絵本製作者養成講座を実施し、新たな協力者の養成に努めました。

利用支援サービス利用者懇談会を開催し、利用者の意見を聴取しました。

オ ボランティア関連事業

図書館ボランティア説明会を開催し、図書館ボランティアの目的や活動内容に関する普及啓発、活動の募集を行ったほか、ボランティアミーティングを開催し、ボランティア相互及び職員との親睦を図りました。

サマーボランティアとして、夏休み期間に学生を受入れ、図書館ボランティアの体験を通じて、ボランティアマインドの育成や図書館業務の理解促進を図りました。

カ 地域情報化関連事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度内の活動は中止しました。

キ 成人対象事業

時局講演会、文芸講演会、文化講演会、公開講座について多彩な分野で実施し、市民の学習意欲や文化的欲求を育んだほか、平和祈念読書会や初めての方の読書会、毎月の定例読書会を開催し、市民の読書推進や図書館利用の推進に努めました。

第50回となった調布樟まつりは、文化講演会や短歌・俳句大会等を開催し、期間中は多くの来場者で賑わいました。

ク その他事業

「マンガ家・つげ義春と調布」展を開催し、来場者が7,058人に上るなど、多くの方で賑わいました。また、関連事業として、つげ義春氏原作の映画「無能の人」の上映会を開催し、合わせて俳優・映画監督の竹中直人氏のトークショーを実施するなど、市内在住のマンガ家つげ義春氏の功績を顕彰し、市民に幅広く紹介しました。

ケ 施設整備

老朽化していた染地分館について、併設する染地地域福祉センターと併せて施設の全面改修工事を実施しました。工事期間中は、染地分館を臨時休館としましたが、この臨時休館中に、市の多摩川自然情報館において、染地分館の臨時窓口を設置し、図書の返却受取りや予約本の受渡しを行い、図書館サービスの維持に努めました。また、都営住宅再整備に伴う緑ヶ丘分館の移転整備に向け、事業主である東京都住宅局と整備に向けた検討調整を行うとともに、移転整備に関する住民説明会を実施しました。

(2) 図書館を取り巻く行政計画及び評価

ア 行政計画での位置づけと評価

調布市は、「調布市自治の理念と市政運営に関する基本条例」第12条に基づき基本構想及び基本計画を策定し、計画行政を推進しています。調布市基本計画において、図書館の事業は、主に「施策13 生涯学習のまちづくり」と「施策20 地域ゆかりの文化の保存と継承」に位置付けられており、施策の核となる基本計画事業として、施策13にNo.44「市民の読書・調査活動への支援」が位置付けられています。

調布市では行政評価システムを導入しており、各施策や事務事業について所管部署による自己評価と行政経営会議における評価を経て、その結果を公表しています。

他方、調布市教育委員会では、「教育基本法」第17条に基づく教育振興基本計画である「第3期調布市教育プラン」及び「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教行法）第1条の3に基づき市長が定めた「調布市教育大綱（第2期）」に基づき各種教育施策を推進しています。教育プランにおいて、図書館の事業は主に「施策9 生涯学習社会への対応」「施策10 地域ゆかりの文化の保存と継承」に位置付けられ

ています。

教育プランの進行管理については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、毎年、有識者による事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、その結果を公表しています。なお、「調布市教育プラン」は、その内容において調布市基本計画と整合を図っています。

イ 評価結果

調布市基本計画及び教育プラン施策における成果指標の結果（図書館関係）

社会教育施設（図書館）の満足度：80.7%（前年度 79.6%）

※ 『市民意識調査報告書(令和4年度版)』

調布市基本計画における事務事業評価結果

No. 47 「市民の読書・調査活動への支援」の評価：○

（事務事業の目的に対して、おおむね成果を得られた。）

令和4年度の市民意識調査の結果において、図書館の満足度は前年度から1.1ポイント増加し、80.7%となり、市の基本計画及び教育プランでの目標値（75.0%）を上回りましたが、令和5年度からの新たな基本計画及び教育プランでの目標値（85.0%）は下回りました。

また、市の行政評価において、基本計画事業となっている「市民の読書・調査活動への支援」は、3段階評価のうち2番目となる「○：事務事業の目的に対して、おおむね成果を得られた。」という評価結果でした。

なお、図書館法第7条の3において「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」と規定されています。現在、図書館としての独自の評価は実施していませんが、市の行政評価及び教育委員会の点検・評価における結果をふまえた図書館運営や事業の充実、施設の改善等に取り組んでいく必要があります。

(参考) 調布市教育プラン（令和5年度～令和8年度）における図書館に係る記述

施策9 生涯学習社会への対応

3.2 市民の読書・調査活動への支援 【図書館】

図書館がより効果的な学習活動の拠点として機能するよう、多様な媒体の資料や情報、課題解決につながる資料、映画・地域資料の選定、収集、整理、提供、保存を行います。また、だれもが読書や調査ができるよう、音訳、点訳、対面朗読、宅配などのサービスの充実に加え、収蔵資料や書籍のデジタル化など、新たなサービスの導入検討により、市民の活動を支援します。

「調布市子ども読書活動推進計画」に基づき、市立小・中学校との連携事業の充実や、乳幼児、障害がある子どもへのサービスの充実など、発達段階に応じた子どもの読書活動の取組を推進します。

成果指標

社会教育施設（公民館・図書館）の満足度 目標値（図書館） 85.0%

施策10 地域ゆかりの文化の保存と継承

34 地域ゆかりの文化を生かした事業の展開【郷土博物館・図書館】

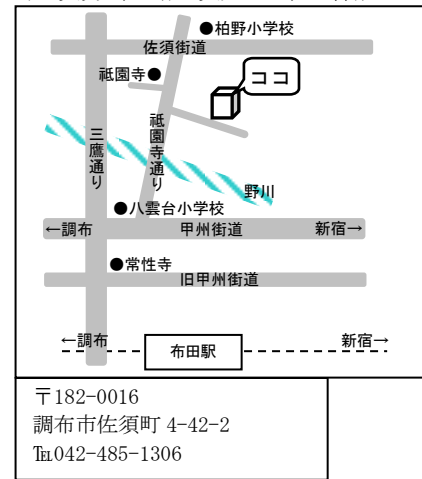
図書館では、名誉市民である水木しげる氏の作品など、地域ゆかりの資料を収集・保存し、市民に提供していきます。また、市内の映画・映像関連企業と連携・協働するなど「映画のまち調布」の特色を生かした事業展開にも取り組んでいきます。

2 図書館配置図

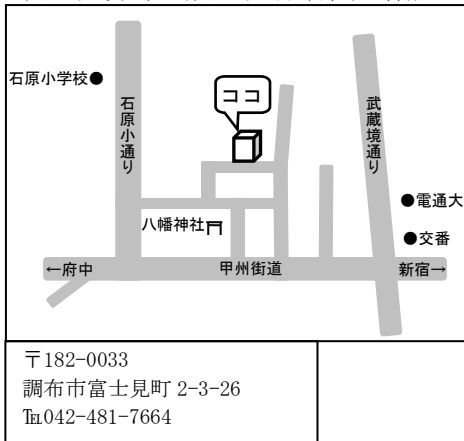
深大寺分館



佐須分館 (佐須児童館 2階)



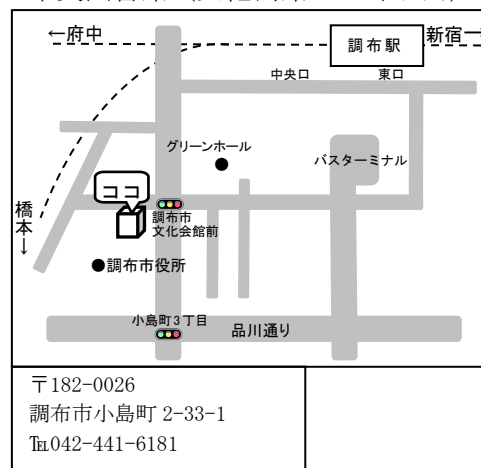
富士見分館 (富士見保育園 2階)



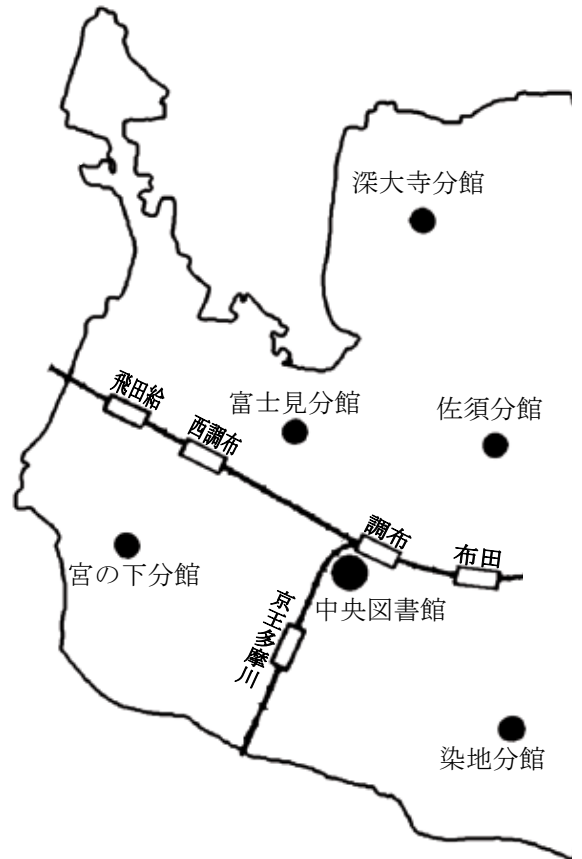
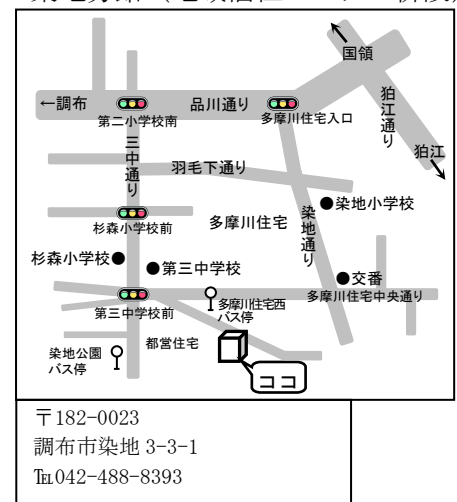
宮の下分館 (宮の下保育園 2階)



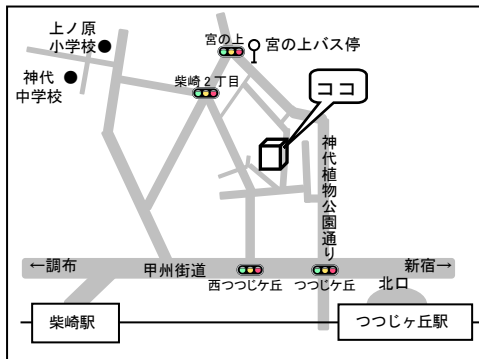
中央図書館 (文化会館たづくり内)



染地分館 (地域福祉センター併設)



神代分館（神代保育園 2階）



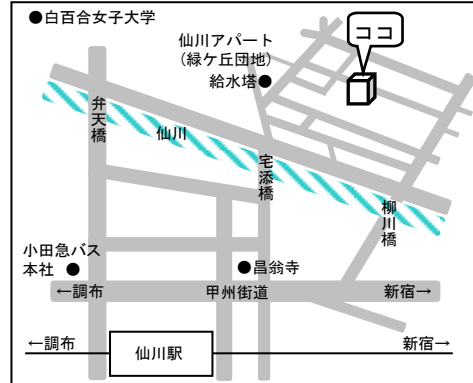
上ノ原小学校 ● 神代中学校 ● 宮の上バス停 ● 宮の上 ● 柴崎2丁目 ● 神代植物公園通り ● 神代分館 ● ココ

←調布 甲州街道 西つつじヶ丘 つつじヶ丘 北口 新宿→

柴崎駅 つつじヶ丘駅

〒182-0006
調布市西つつじヶ丘 1-40-5
Tel.042-485-0054

緑ヶ丘分館



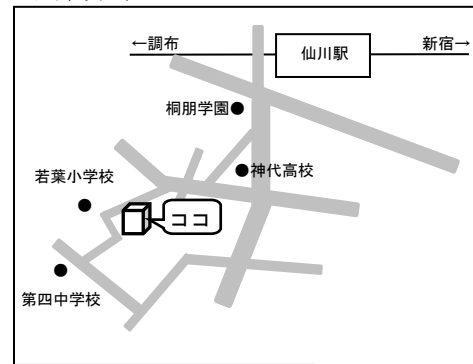
●白百合女子大学 ● 仙川アパート (緑ヶ丘団地) ● 給水塔 ● 柳川橋 ● 宅添橋 ● 昌翁寺 ● 小田急バス本社 ● 仙川分館 ● ココ

弁天橋 仙川 甲州街道 新宿→

←調布 仙川駅 新宿→

〒182-0001
調布市緑ヶ丘 2-25
Tel.03-3300-7672

若葉分館

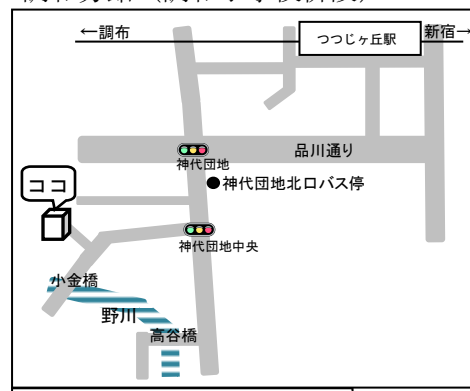


←調布 仙川駅 新宿→

桐朋学園 ● 若葉小学校 ● 神代高校 ● 第四中学校 ● 若葉分館 ● ココ

〒182-0003
調布市若葉町 3-16-13
Tel.03-3309-3411

調和分館（調和小学校併設）

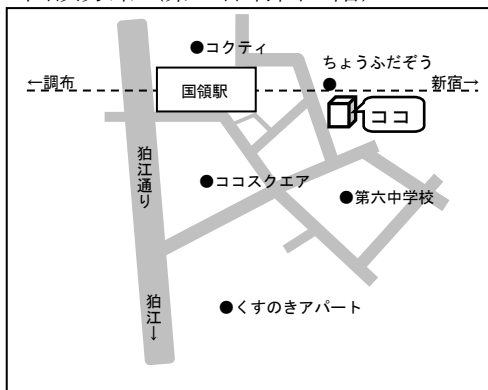


←調布 つつじヶ丘駅 新宿→

品川通り ● 神代団地 ● 神代団地北口バス停 ● 神代団地中央 ● 小金橋 ● 野川 ● 高谷橋 ● 調和分館 ● ココ

〒182-0006
調布市西つつじヶ丘 4-22-6
Tel.042-485-2000

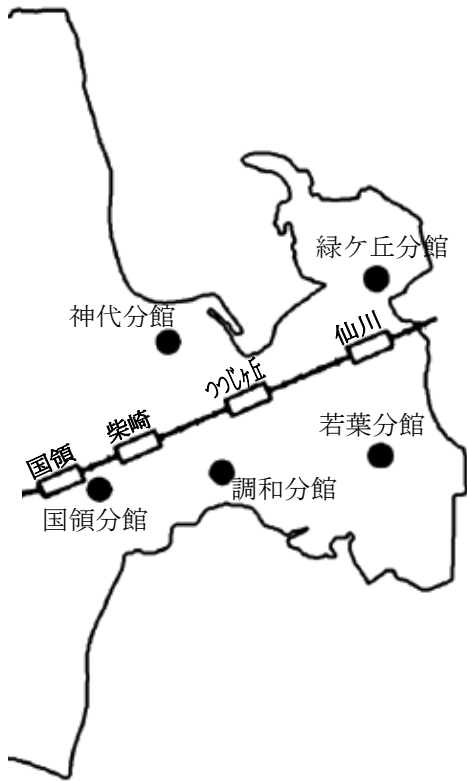
国領分館（第五保育園 2階）



●コクティ ● ちょうふだぞう ● 国領駅 ● 国領分館 ● ココ ● ココスクエア ● 第六中学校 ● くすのきアパート ● 狛江

←調布 狛江通り 狛江 ↓ 新宿→

〒182-0022
調布市国領町 3-12-1
Tel.042-484-2000



3 施設概況

館名		中央	国領	調和	深大寺	神代
区分						
竣工年月日		H7.2.28	S44.3.31	H14.7.30	H23.2.25	S46.3.31
開館日		H7.10.1 S41.6.10 (旧中央館)	S44.8.14	H14.9.3 S45.7.20 (旧つつじヶ丘分館)	H23.5.28 S46.7.24 (旧深大寺分館)	S46.10.1
建設費(千円)		23,793,000	9,120	100,386	193,830	17,080
敷地面積(m ²)		6,531.91	1,454.59	13,316.76	1,505.31	1,985.77
土地購入費(千円)		借地等	53,100	市有地	市有地	84,000
構造物の	構造	鉄筋13階建の地下1階および4～7階部分	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート3階建地下1階の1階部分	鉄筋コンクリート	鉄筋の階上
	併設・単独	文化会館たづくり内	保育園併設	小学校併設	単	保育園併設
設計事務所		建築モード研究所	桜井設計事務所	横河設計事務所	K構造研究所	桜井設計事務所
工事請負会社		鹿島・大成・フジタ林建設共同企業体	高尾建設	PFI事業体(三井物産グループ)	西野建設	増岡建設
所在地		小島町2丁目33番地1	国領町3丁目12番地1	西つつじヶ丘4丁目22番地6	深大寺北町5丁目17番地3	西つつじヶ丘1丁目40番地5
電話		042-441-6181	042-484-2000	042-485-2000	042-485-3350	042-485-0054
床面積(m ²)		4,366.60 3,611.15(専) 755.45(共)	324.30	379.00	555.79	363.62
最終改修年月日		H19.2.23 (視聴覚資料室)	H2.11.30	—————	—————	S63.12.28
職員数(有資格者数)		45(25)	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)
蔵書能力(冊)		開架150,000 閉架250,000	37,000	38,000	50,000	33,000
施設の概況	一般室	1,350m ²	175m ²	131m ²	195m ²	140m ²
	子ども室	140m ²	91m ²	43m ²	61m ²	68m ²
	集会室	なし	なし	なし	34m ²	34m ²
	成人用座席	72	18	16	28	25
	児童用座席	28	9	12	6	16
	おはなし室	35m ²	20m ²	11m ²	20m ²	25m ²

※ 座席数は机と椅子のあるものです。ほかにソファやベンチなどを備えています。

※ 中央図書館職員には、育児休業代替任期付き職員を含みます。

(専) 専用部分 (共) 共用部分

令和5年3月31日現在

宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	染地	佐須	高架下 資料保存庫
S47.3.31	S49.3.30	S49.3.30	S50.3.31	S55.5.19	S57.3.31	S60.3.15
S47.7.24	S49.7.20	S49.7.20	子ども室S50.4.12 一般室S50.7.5	S55.6.6	S57.7.13	S60.4.1
18,000	30,190	30,798	77,654	東京都負担	143,651	45,000
2,062.51	800.36	1,524.29	728.00	1,643.61	2,072.38	1,067.00
80,000	借地 (東京都) R1.5.1 ~R6.4.30	162,000	市有地	借地 (東京都) R2.9.1 ~R7.8.31	92,867	借地 (日本高速道路保有・ 債務返済機構) R5.4.1 ~R10.3.31
鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート 2階建	鉄筋コンクリート 3階建の1階部分	鉄筋の階上	鉄骨平家
保育園併設	単	保育園併設	単	地域福祉センター 併設	児童館および ふれあいの家併設	単
葵建築 研究所	つかさ 設計事務所	葵建築 研究所	和 設計事務所	都市建築 計画センター	相和 技術研究所	杉原 設計事務所
白石建設	田邊工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店
上石原3丁目 34番地10	緑ヶ丘 2丁目25番地	富士見町 2丁目3番地26	若葉町3丁目 16番地13	染地 3丁目3番地1	佐須町 4丁目42番地2	上石原 2丁目7番地6
042-486-5798	03-3300-7672	042-481-7664	03-3309-3411	042-488-8393	042-485-1306	042-487-2660
341.97	288.00	333.91	515.52	369 298(専) 71(共)	606.16	485.26
H21.2.20	H2.7.31	H2.3.22	H1.7.31	R5.3.17	H16.3.10	————
2(1)	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)	0
31,000	33,000	33,000	44,000	40,000	開架38,000 閉架50,000	200,000
130㎡	120㎡	140㎡	173㎡	153㎡	245㎡	電動式書架室 260㎡ (書架設置 S62.6完成)
56㎡	64㎡	88㎡	123㎡	105㎡	80㎡	
19㎡	なし	25㎡	51㎡	なし	なし	
12	12	12	16	12	19	固定式書架室 200㎡ (書架設置 S61.1完成)
12	12	14	24	12	8	
18㎡	20㎡	なし	32㎡	なし	25㎡	

※ 高架下資料保存庫の一部は、総務部総務課が使用しています。

4 各館の概要

(1) 中央図書館

調布市小島町2丁目33番地1

調布市文化会館たづくり内

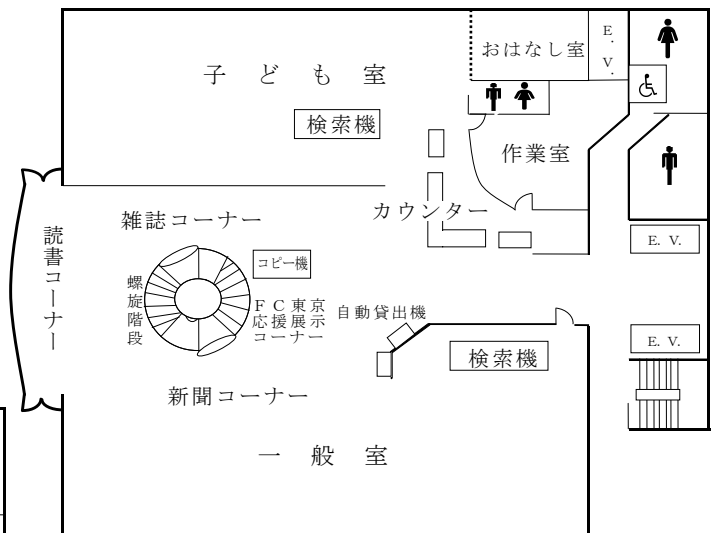
電話 042-441-6181

平成7年10月1日開館

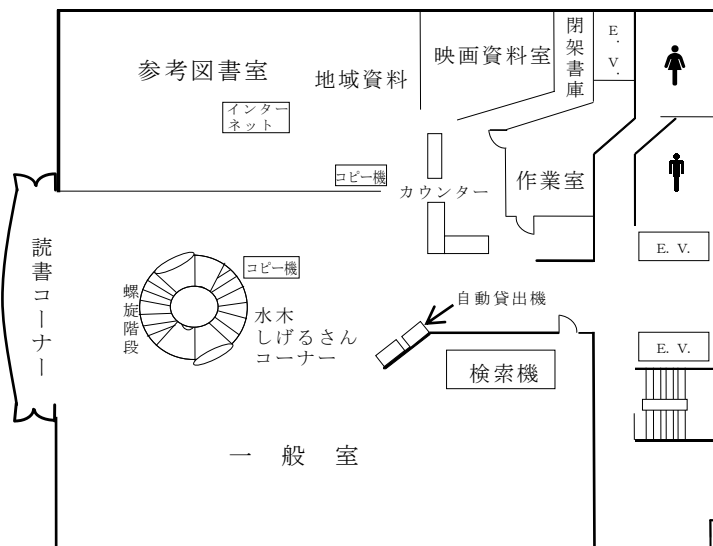
(京王線調布駅から徒歩3分)

駐車場：文化会館たづくりに有料駐車場あり

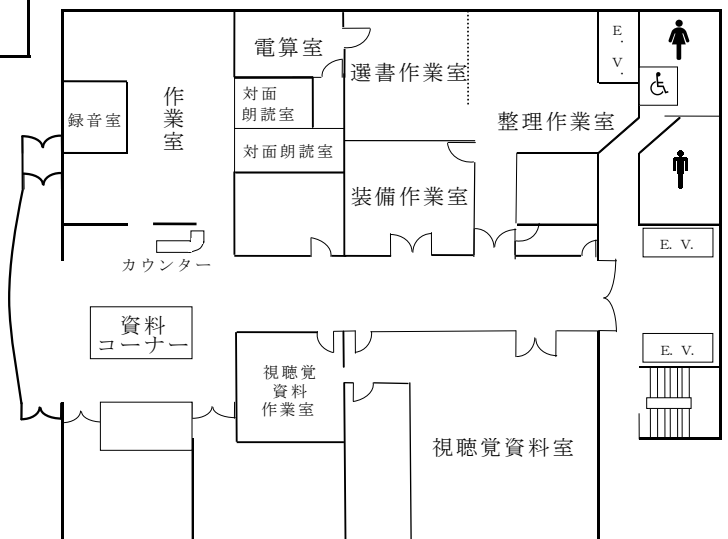
4階 一般室 子ども室・おはなし室



5階 一般室 参考図書室・映画資料室



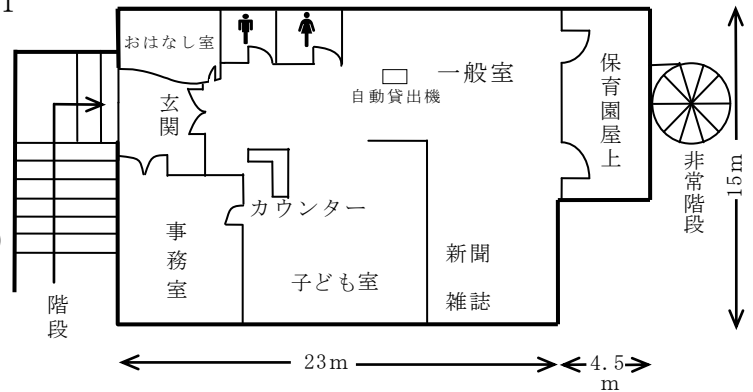
6階 利用支援コーナー 視聴覚資料室



(2) 国領分館

調布市国領町3丁目12番地1
電話 042-484-2000

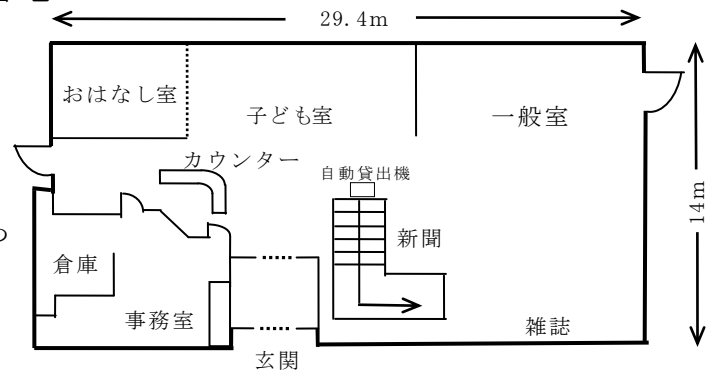
昭和44年8月14日開館
(第五保育園2階)
(京王線国領駅から徒歩3分)



(3) 調和分館

調布市西つつじヶ丘4丁目22番地6
電話 042-485-2000

平成14年9月3日開館
(調和小学校併設)
(京王線つつじヶ丘、柴崎駅から
徒歩10分)

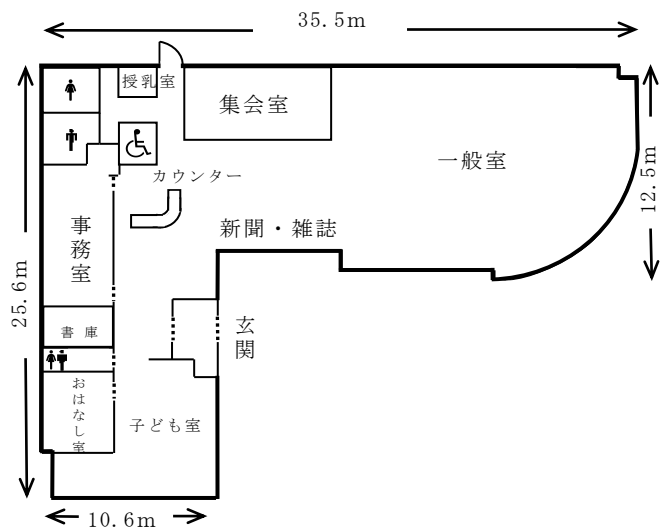


(4) 深大寺分館

調布市深大寺北町5丁目17番地3
電話 042-485-3350

平成23年5月28日開館
(京王線調布駅から小田急バス
吉06・野崎経由吉祥寺駅行き
又は鷹56・神代植物公園前
経由三鷹駅行き 山野下車徒歩
10分)

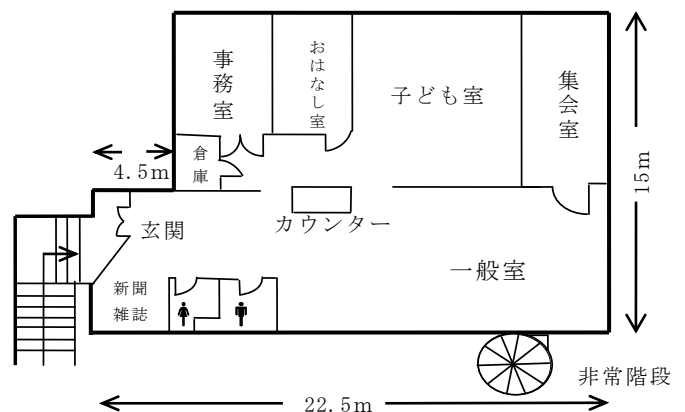
駐車場：3台 (うち身障者用1台)



(5) 神代分館

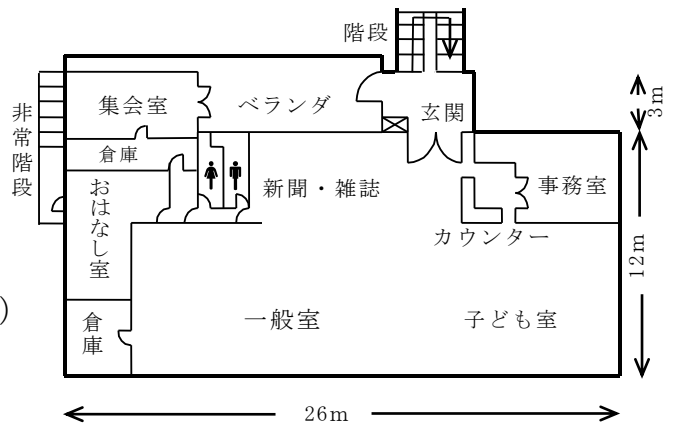
調布市西つつじヶ丘1丁目40番地5
電話 042-485-0054

昭和46年10月1日開館
(神代保育園2階)
(京王線つつじヶ丘駅から
徒歩8分)



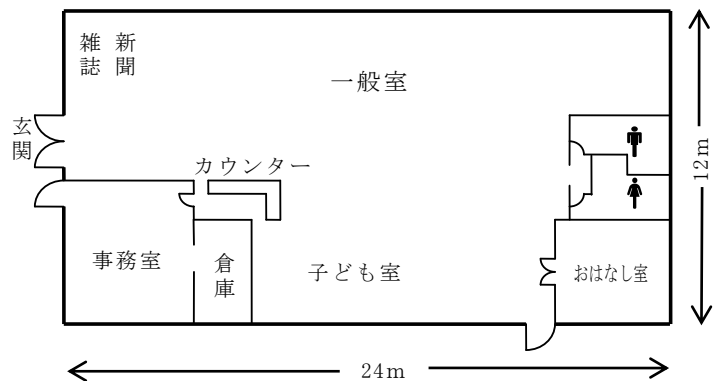
- (6) 宮の下分館
調布市上石原 3 丁目 34 番地 10
電話 042-486-5798

昭和 47 年 7 月 24 日開館
(宮の下保育園 2 階)
(京王線西調布駅から徒歩 15 分)
駐車場：宮の下保育園と共用



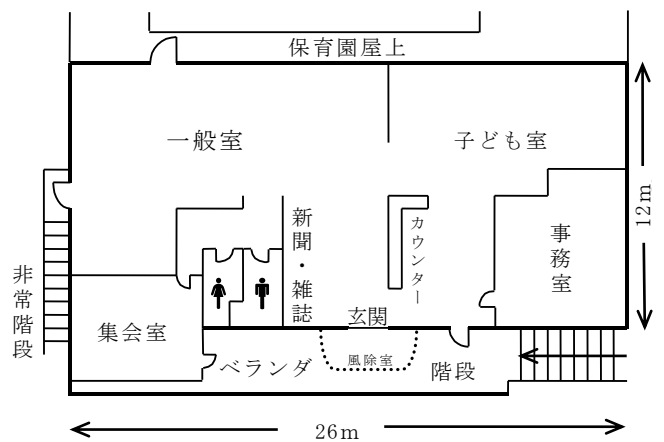
- (7) 緑ヶ丘分館
調布市緑ヶ丘 2 丁目 25 番地
電話 03-3300-7672

昭和 49 年 7 月 20 日開館
(京王線仙川駅から徒歩 12 分)



- (8) 富士見分館
調布市富士見町 2 丁目 3 番地 26
電話 042-481-7664

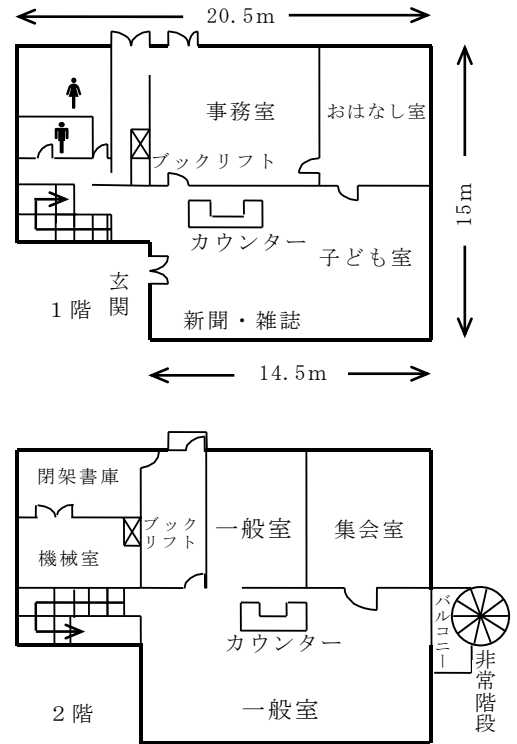
昭和 49 年 7 月 20 日開館
(富士見保育園 2 階)
(京王線調布駅から徒歩 15 分)



(9) 若葉分館

調布市若葉町3丁目16番地13
電話 03-3309-3411

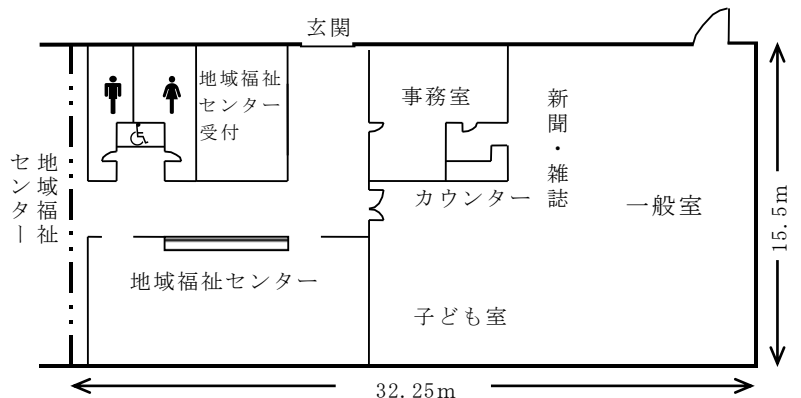
昭和50年4月12日子ども室開館
同年7月5日全面開館
(2階建て)
(京王線仙川駅から徒歩15分)



(10) 染地分館

調布市染地3丁目3番地1
電話 042-488-8393

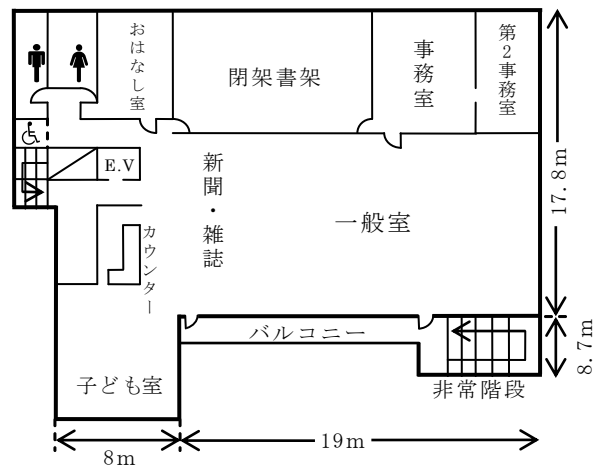
昭和55年6月6日開館
(染地地域福祉センター併設)
(京王線調布駅から京王バス多摩川住宅西行き
多摩川住宅西又は染地公園下車 徒歩3分)



(11) 佐須分館

調布市佐須町4丁目42番地2
電話 042-485-1306

昭和57年7月13日開館
(佐須児童館2階 ふれあいの家併設)
(京王線布田駅から徒歩20分)



Ⅲ 図書館協議会

図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて、館長に意見を述べる機関として設置しています。

1 任期

2年

2 委員数

12人

3 委員の構成

<任期：令和3年9月1日から令和5年8月31日まで>

氏名	摘要	備考
ほし の ゆみ こ 星 野 由美子	学校教育関係者	新任
や しま かな こ 八 島 佳奈子	学校教育関係者	新任
え りゅう たま お 江 竜 珠 緒	学校教育関係者	再任
しん どう み さ 進 藤 美 左	社会教育関係者	新任
いな ども まさ とし 稲 留 昌 利	社会教育関係者	新任
おと たけ まさ よし 乙 竹 正 善	社会教育関係者	新任
か どう わ か こ 加 藤 和歌子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	再任
まつ ざわ かず まさ 松 澤 和 昌	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	再任
くり た まゆ こ 栗 田 真由子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	新任
の ずえ としひ こ 野 末 俊比古	学識経験者	再任
さか もと まさ こ 坂 本 雅 子	学識経験者	新任
の ぐち くみ こ 野 口 久美子	学識経験者	再任

※ 委員長 野末俊比古委員，副委員長 野口久美子委員

※ 学校教育関係者は任期途中で交代する場合があります。

4 会議（令和4年度 定例会4回）

第1回	5月19日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第4回調布市立図書館協議会議事録（案）の承認について ・令和3年度調布市立図書館事業報告について ・令和4年度調布市立図書館事業計画について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期図書館電算システムについて ・つげ義春展示会「つげさんの『調布巡礼』（仮題）」について ・「図書館だより 2022 春 NO. 262」について ・「1年生にすすめる本」について ・「子ども読書の日」の取組みについて ・映画のまち調布シネマフェスティバル2022「出張！映画資料室」の報告について ・調布市立図書館染地分館の臨時休館について
第2回	7月21日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1回調布市立図書館協議会議事録（案）の承認について ・第4次調布市子ども読書活動推進計画について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏休みにすすめる本」について ・「次期社会教育計画」について ・「図書館だより 2022 夏 NO. 263」について ・「夏休み子ども向け法務ミニセミナー」について
第3回	10月20日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第2回調布市立図書館協議会議事録（案）の承認について ・第4次調布市子ども読書活動推進計画について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和3年度版数字で見る図書館活動」について ・音訳者の表彰について ・「利用者懇談会」について ・「図書館だより 2022 年秋号 NO. 264」について ・都立神代高等学校の美術科専攻生徒さんのマナーアップポスター掲示について ・「中学生にすすめる本 2022」について ・「子どもの本に親しむ会」について ・染地分館の休館に伴う臨時窓口の開設について ・「次期社会教育計画」について

第4回	1月26日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第3回調布市立図書館協議会議事録（案）の承認について ・令和5年度調布市立図書館事業計画（案）について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第4次調布市子ども読書活動推進計画」パブリック・コメントについて ・「利用者懇談会」について ・点訳グループの表彰について ・「図書館だより 2022 冬 NO.265」について ・図書館電算システム更新について ・「マンガ家・つげ義春と調布」展について ・「法務ミニセミナー」について ・「映画のまち調布シネマフェスティバル2023」について ・調布市立図書館緑ヶ丘分館移転説明会について
-----	--------------	--

※ 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインミーティングツールを併用して開催しました。